



令和6年(2024年)度 学校経営方針について

校長 松島孝司



目指す学校像

学校教育目標

豊かな人生と社会を作るために、自ら考え主体的に行動する生徒の育成



響きあいの精神のもと
生徒・保護者・教職員が誇りを持てる
これからの時代を担う学校



基本的な生徒観の共有

生徒の可能性は無限大、信じてやらせる
ことも基本法の理念を大切に

- 「言われたことに従順に従う」のではなく、「素直に話を聞き、自ら考え判断する」ことを大切に
- 対立やジレンマ、困難に直面しても、折り合いをつけしなやかに復元できる力（レジリエンス）を



3つの重点項目

固定観念にとらわれずに

研究にとどまらず、「生徒の自治的活動の充実、学校経営への参画」等の学校運営のしくみも含めた、これからの学校教育の創造に取り組む

- ①生徒の主体性育成
- ②働きがい改革（ライフワークバランス）
- ③大学附属の強みを活かす



重点項目①

生徒の主体性を育成できる 学びやしくみを構築

- 生徒の主体性育成の視点から、あらゆる場面で、計画段階から生徒の出番をつくる
- 授業、特別活動や部活動等、すべての学校教育活動で、生徒自身が課題意識を持った探究的活動を充実させる



重点項目②

教職員のやる気とやりがいを高める 「働きがい改革」(ライフワークバランス)

- 校務のDX化を積極的に推進する
- 労働環境改善とキャリアアップ研修充実を図る
- 既成概念にとらわれずに、校務の見直し・取捨選択・再構築を行う



重点項目③

「熊本大学附属」の強みをフルに活かし 外部人材活用

- 熊本大学職員、附属中同窓会等の人材を積極的に活用する
- 現在検討されている「国際コース」を活用し、相乗・協働作用を高める（人・モノ・カリキュラム）